

事業名	食品の安全・安心推進事業		調査番号	9
細事業名	食品表示確認のための取去物品買上費	財務コード	651507	
担当部課室	県民生活 部 消費生活安全 課 食の安全・食育 担当 (内線)		2272	

事業の概要

実施期間	始期 H17 年度 ~ 終期 年度	
実施主体	県(直営)	
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして
	食品	適正な食品表示にする
結果、何に結びつけるのか	県民に食品に関する正しい情報が提供され、食の安全が確保される	
内容	事業概要 食品表示法の遵守を図るため、食品表示が適正かどうか真正性の確認を行う。 県民(消費者)からの疑義情報に対する物品の買上 H27予算[5検体] 実績[0検体] 分析委託用物品買上 H27予算[7検体] 実績[7検体] 食品分析委託 H27予算[7検体] 実績[7検体] 内容:大豆加工品 3検体 米穀 2検体 食肉加工 2検体	

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
活動指標	目標	12	10	10	10	7	8	7
	DNA鑑定等の食品分析検体数	実績(見込)	10	10	9	9	7	8
	達成率	83.3	100.0	90.0	90.0	100.0		
	達成区分	b	b	b	b	b		
成果指標	目標							
	実績(見込)							
	達成率							
	達成区分							
決算(予算) 単位:千円		179	124	110	101	127	286	252

事業の評価(平成27年度の業績評価)

活動指標	b	評価
成果指標		
食品表示の真正性をDNA鑑定等に確認し、適正な食品表示を図るとともに、結果を県民に公表することにより、正しい食品情報の提供や食の安全の確保が図られて、意図した成果を上げている。		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。  
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成29年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他( )		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上は余り望めない
	説明	食品表示の真正性を確認することで、県民へ公表するとともに業者指導に生かし、正しい食品情報の提供、食の安全の確保が図られる。		
見直しの余地	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他( 食品表示の真正性が保たれてきていることから検査数削減の検討の余地がある )		
その他	説明			
見直しの必要性	有	食品表示の真正性が保たれていることから、検査数の削減を行う		

見直しの方向(平成29年度当初予算等での対応状況)

縮小	説明	検査数の削減を行う
----	----	-----------

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。